

令和6年度事業計画書
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構
JRECO 情報処理センター

当機構は、平成27年1月27日付けでフロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（平成13年法律第64号。以下「法」という。）第76条に基づく情報処理センターに指定されたことを受け、法第77条に規定する業務を行う。

当機構では、令和6年度のJRECO 情報処理センターの事業として、業務規程に基づき、以下の業務を行う。

(1) 情報処理業務の実施に関する事項

① 情報処理業務の内容

JRECO 情報処理センターは、法第77条に掲げる以下の情報処理業務を令和5年度に引き続き適切かつ確実に実施する。

- ・ 法第38条第1項及び法第40条第1項の規定による登録に係る事務を電子情報処理組織により処理する。
- ・ 上記登録事務を電子情報処理組織として構成される電子計算機その他の機器を使用・管理、並びにプログラム、データ、ファイル等を作成し、及び保管する。
- ・ 法第38条第2項（法第40条第2項において準用する場合を含む。）の規定による通知並びに法第38条第3項（法第40条第2項において準用する場合を含む。）の規定による記録及び保存を行う。

また、本年度の情報処理業務に関して、ここ数年は年間約2,300件の登録ペースで推移しているが、昨年に大口約3万台のログブック利用契約をした管理者の本格的なシステム運用が開始されることや、コロナ禍の収束による経済活動の正常化に伴い企業の環境保全、法令遵守の意識が更に高まることが期待されるため、本年度の登録件数は、3,500件に増加することを見込んでいる。

なお、令和6年3月1日現在の情報処理センターへの管理者・廃棄者、充填回収業者の登録事業所数は下記の通りである。

- ・ 管理者・廃棄者 20,201（機器登録台数は243,451台）
- ・ 充填回収業者 2,530

（充填回収業者の場合、1事業所で複数の都道府県を登録している都道府県をそれぞれ個別に累計した場合は 7,133）

② 情報処理業務に関連する問い合わせ対応や事務処理について、適正に処理できる体制の構築と、効率的な実施

人員体制は、これまでのノウハウの蓄積等の活用及び利用者の増加に伴う多岐にわたる様々な要求や問い合わせ等にも適切に対応していくため、情報システム部を3名体制としてシステムの適正な運用に当たることとする。

経理に関しては、昨年度施行されたインボイス制度や改正電子帳簿保存法を遵守し、情報処理センター利用のために預託された預かり金と、情報処理センターの利用時に利用料金として当機構が収受した金銭、及び情報処理センター利用に応じて発行する請求書や徴収する金銭については、収支計画書に基づき適切に管理する。なお、RaMS事業から情報処理センターへの分離会計における費用配分は、従来の売上比率に加え、昨年度から科目によっては人頭比率を導入し、より実態に適した按分比率を用いて実施している。業務の効率化や経費の削減等により、昨年度の決算見通しから単年度では黒字に転じ、本年度の一般正味財産も増額となり、累計の正味財産期末残高も黒字に転じることを計画する。

(2) 情報処理業務に用いる設備の維持及び更新の見通し

① 機器更新や拡充等各種の機能改善の適切な実施

情報処理業務を実施するために必要な電子計算機その他の機器については、データの使用可能領域は最大64TBに対して、現在の使用領域は42GB(OSなどを含む全使用容量)であるため、データ処理及びデータ容量に関しては十分な余裕があり、基本的には機器の更新や拡充の必要性はなく現状維持とするが、セキュリティの強化等の変更を必要に応じて実施することとする。

また、各種の機能改善については情報処理センターの利用者の利便性の向上や作業効率性を高めるため、昨年度と同様に、システム仕様の改善や追加を随時行い、継続的に改善を図ることとする。なお、法令の改正に伴いシステム仕様の変更や追加等が必要とされる場合には、適正、迅速に対応する予定である。

参考として、昨年度の実績としては、以下の改善を行った。

- ・ GWP 告示の改正に伴う R 番号の追加及び GWP を AR5 の値に変更。
- ・ インボイス制度の施行に伴うシステム画面及び出力伝票の様式見直し、変更。
- ・ 未利用の RaMS 専用銀行口座のリセット及び再利用の実施。
- ・ サーバー用 OS 及びプログラミング言語のアップグレード。
- ・ クラウド用リレーショナルデータベースのインプレースアップグレード。

② システムの安定運用のための保守管理の実施

情報処理業務を実施するシステムは、これまでと同様に安定した運用を図るために高いセキュリティで保護されたデータセンター内に構築し、外部からのアクセスは暗号化された通信手段やファイアウォールによる接続制限を設けている。システムの開発、変更、維持に関する運用管理の実務は外部委託による専門業者に一任し、JRECO からのサーバーへの直接のアクセスも行えない仕組み（アクセスは Web 経由のみ）とすることで、万一 JRECO 内の情報機器に不正アクセスやウィルス感染が発生した場合でも、情報処理センターのシステムは隔離された環境としている。

委託先の運用管理者（専門業者）は、JRECO よりの要求に応じてシステムの開発や変更を行うと共に、不具合発生時の対応やサーバーの CPU 使用率によりシステム運用

状況の監視を行っている。同運用管理者と JRECO とは、開発や仕様変更ならびに利用者からの問い合わせ等に対応するため 1～2 週に 1 度程度の頻度で照会や情報交換を行っており、引き続き緊密に連携して安定運用を図ることとする。

なお、安定な運用について現時点では問題なく維持されており、設備能力も前述の通り当面は拡充や能力向上を図る必要はないと考えられるので、特段の事情の変化がない限り、本年度も現在と同様のシステム体制を維持・管理することで対応を行うこととする。

(3) その他必要な事項に関する事項

昨年度は、フロン排出抑制法の内容も含め情報処理センターの意義や利用方法の広報活動を行い、情報処理センターの利用の普及・促進を図ってきた。

- ・情報処理センターの利用に関する Web 説明会を計 17 回開催（参加者数 577 名）
（添付資料 A）、他にも利用者の要請に対する個別 Web 説明会の開催
- ・環境と新冷媒 国際シンポジウム 2023（神戸シンポジウム）（11 月 16 日から 17 日）において講演とポスターセッションを実施
- ・HVAC&R JAPAN 2024（第 43 回冷凍・空調・暖房展）（1 月 30 日から 2 月 2 日）の情報発信コーナーに出展（添付資料 B）
- ・フロン排出抑制法及び情報処理センターに関する専用ポータルサイトの内容拡充、動画配信サービスや SNS 媒体を利用した周知、広報活動の実施（添付資料 C）
- ・分かり易い提案説明書を作成し、製造業者、スーパー等小売業者、食品加工業者、ビル管理会社、大学、病院をはじめとする潜在利用者 100 社以上に個別に接触し紹介や説明を実施、また、関連団体及びその傘下の企業へ電話、メール等による周知、広報活動を実施（添付資料 D）
- ・大手上場企業等に SDGs（持続可能な開発目標）としてフロン類管理の CSR（ESG）報告書記載を啓発、法令遵守に関して CSR・環境関係の情報提供機関、弁護士事務所と連携して周知活動を実施
- ・業界紙、関係団体（日設連・東冷協）会報への広告掲載
- ・情報処理センター利用者への情報メールの発信、情報提供サービスの強化
- ・国へ検討資料用として、秘匿性を確保した形（統計データ）で RaMS データを提供

本年度においても、情報処理センター利用の一層の拡大にむけて昨年度同様に普及・広報活動を継続して行う。

- ・Web 配信による説明会を随時開催
- ・分かり易い資料での潜在利用者への個別紹介、説明
- ・ポータルサイトのコンテンツ充実
- ・動画配信サービスや SNS 媒体を利用した情報発信
- ・利用者の法人名、ロゴマークの公開、事例等の紹介（添付資料 E）
- ・業界紙、雑誌への広告掲載（添付資料 F、G、H）

添付資料

- A. 令和 5 年度説明会
- B. HVAC&R JAPAN 2024（第 43 回冷凍・空調・暖房展）

- C. インターネットを利用した情報発信
- D. サステイナブルキャンパス賞 2023 ニューカマー賞
- E. 利用法人名・ロゴマーク掲載
- F. 業界紙広告（空調タイムス）
- G. 雑誌広告（冷凍空調設備）
- H. 雑誌広告（東冷協だより）

令和5年度 RaMS(冷媒管理システム)説明会 申込状況

	セミナー番号	開催場所(都市名)	開催日	申込者数	残席数	定員数	受付状況	受講者数計
1	255	東京都(Web生配信)	2023/4/27	56	44	100	終了	44
2	256	東京都(Web生配信)	2023/6/5	72	28	100	終了	57
3	257	東京都(Web生配信)	2023/7/11	49	51	100	終了	41
4	258	東京都(Web生配信)	2023/8/30	55	45	100	終了	46
5	259	東京都(Web生配信)	2023/10/3	56	44	100	終了	48
6	260	東京都(Web生配信)	2023/11/8	41	59	100	終了	36
7	261	東京都(Web生配信)	2023/12/14	44	56	100	終了	42
8	262	東京都(Web生配信)	2024/1/24	40	60	100	終了	31
9	263	東京都(HVAC&R展)	2024/1/30(1回目)	—	—	40	終了	30
10	264	東京都(HVAC&R展)	2024/1/30(2回目)	—	—	40	終了	23
11	265	東京都(HVAC&R展)	2024/1/31(3回目)	—	—	40	終了	28
12	266	東京都(HVAC&R展)	2024/1/31(4回目)	—	—	40	終了	33
13	267	東京都(HVAC&R展)	2024/2/1(5回目)	—	—	40	終了	27
14	268	東京都(HVAC&R展)	2024/2/2(6回目)	—	—	40	終了	31
15	269	東京都(HVAC&R展)	2024/2/2(7回目)	—	—	40	終了	26
16	270	東京都(HVAC&R展)	2024/2/2(8回目)	—	—	40	終了	34
17	271	東京都(Web生配信)	2024/3/6	71	29	100	受付中	0

合計 577

JRECOホームページ
 (「フロン排出抑制法のポイントと冷媒管理システムRaMS」Web説明会)

JRECO 一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構
 JRECO. Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

団体概要 事業内容 会員 情報セキュリティポリシー

お知らせ・新着情報

「フロン排出抑制法のポイントと冷媒管理システムRaMS」Web説明会を開催しました

令和5年12月14日(木) 15:00から実施した「フロン排出抑制法のポイントと冷媒管理システムRaMS」Web説明会を、無事終了することができました。

多くの方にお忙しい中ご参加いただき、感謝申し上げます。
 これからもさらに内容を充実させ、よりスムーズな運営を目指したいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

なお、次回は令和6年1月24日(水) 15:00から開催します。

プログラムやお申し込み方法につきましては、ホームページでご案内しておりますが、下記URLからもお申し込みできます。
 員社内やお取引先にお知らせいただければ幸いです。
 よろしく申し上げます。
<https://www.jreco.or.jp/guidance.html>

なお、Webによる個別相談も下記により実施させていただきますのでよろしくお願いたします。
 ツールについては、Teamsのみならず、Zoomでも対応いたしますのでご用命の程お願いたします。
https://www.jreco.or.jp/guidance_bt.html

<説明会実施の様子> 

<Web説明会 視聴画面の例> 

JRECO 一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構
 JRECO. Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

団体概要 事業内容 会員 情報セキュリティポリシー

フロン排出抑制法のポイントと冷媒管理システムRaMS
 Web説明会開催について

12月14日開催のWeb説明会はお陰様で多数申込みを頂き、受付終了させて頂きました。
 下記から次回のWeb説明会お申込みができますので、ご参加をお待ちしております。

記

【開催概要】

- ・タイトル: フロン排出抑制法のポイントと冷媒管理システムRaMS
- ・開催日時: 2024年1月24日(水) 15:00~16:30
- ・プログラム:

1. 開会のあいさつ
2. 第一部 冷媒フロンの課題と解決
・フロン排出抑制法のポイント
～休憩～
3. 第二部 RaMSの特長、基本的操作と活用
4. まとめ

- ・申込期限: 定員100名に到達次第締め切りさせていただきます。
- ・申込方法: 下記の申込フォームより必要事項を入力の上、お申し込み願います。

[申し込みはこちら](#)

- ・参加費: 無料
- ・定員: 100名
- ・参加方法: セミナー開催前にお申込時のメールアドレス宛に参加方法を別途ご案内いたします。(使用するシステムはMicrosoft Teamsです。)

インターネットに接続できるPCもしくはスマートフォン・タブレット端末があれば、どこからでも簡単にご参加いただけます。
 法のポイントについて平易に解説するとともに、法律に完全準拠し、かつ使い勝手の良くなった冷媒管理システムRaMSについてデモを行いながら丁寧に説明いたします。

以上

HVAC&R JAPAN 2024

HVAC&R JAPAN 2024

ヒートパ&ール ジャパン2024 第43回冷凍・空調・暖房展

2024年1月30日(TUE) ▶ 2月1日(FRI)

会場：東京ビッグサイト

主催：一般社団法人 日本冷凍空調工業会

HVAC&Rとは



本展示会は、1957年創設されて以来、空調機器産業の「専門展」であり、2022年は、本展を開催いたしました。本年は、「HVAC」の空調冷熱製品・おけるセミナーも

2024年1月31日(水)

有明セントラルタワー
セミナー情報

15:00 ~ 15:45

Room1

講演

フロン排出抑制法遵守と電子管理ツール
RaMSの活用

野口 周作

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 (JRECO) 企画・調査部長



HVAC&R JAPAN 2024
情報発信コーナー

JRECO ブースでは情報処理センター及び RaMS を積極的に PR



インターネットを利用した情報発信

- フロン排出抑制法及び情報処理センターに関する専用ポータルサイト (<https://jreco-rams.jp>)

- RaMS 資料一覧 (<https://www.jreco.jp/index/relay/>)

資料名	対象	内容
How to RaMS	管理者、充填回収業者	RaMS操作等に際して簡略化したRaMSの資料です。
RaMS概要 (基本機能、活用メリット等)	全般	
利用料金について	全般	ご利用料金表、課金先をまとめ
RaMS操作解説動画	全般	RaMSの解説、まごとに動画でご
管理者のための簡単利用ガイド	管理者・廃業者	
充填回収業者のための簡単利用ガイド	充填回収業者	

- JRECO 動画配信チャンネル (<https://www.youtube.com/@user-yh1wn8gx8y/videos>)



CAS-
Net
JAPAN
Campus Sustainability Network in JAPAN
サステイナブルキャンパス推進協議会

Sustainable Campus Award 2023

サステイナブルキャンパス賞2023
建築・設備部門 ニューカマー賞

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 (JRECO) 殿

下記の取組は、サステイナブルキャンパス実現に向けた大変
優れた取組として認められるので、これを賞します。

全国大学 環境報告書 2022年度
フロン対策調査による啓発活動

2023年11月18日

一般社団法人サステイナブルキャンパス推進協議会
代表理事 朴 恵淑



利用法人名・ロゴマーク掲載 (https://www.jreco.or.jp/rams_jirei.html)



〒105-0011
東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 406-2
TEL : 03-5733-5311 FAX : 03-5733-5312

団体概要	事業内容	会員	情報セキュリティポリシー	アクセスマップ	English
------	------	----	--------------	---------	---------

RaMS導入事例とご利用企業・法人例 (五十音順・敬称略)

掲載に了解頂いた企業・法人様



R a M S 導入事例

- ・ 通水ハウス株式会社
- ・ デンカ株式会社
- ・ 三菱マテリアル株式会社 若松製作所
- ・ 北陸ラッキーマン株式会社
- ・ 学校法人 鹿鹿義塾
- ・ 北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社
- ・ 旭化成株式会社 水島製造所
- ・ イオンディライト株式会社
- ・ UBE株式会社 宇部ケミカル工場

RaMSご利用されている企業・法人例 (名称掲載を了解頂いたもの)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 旭化成株式会社 水島製造所・鈴鹿製造所・川崎製造所 | ツルガハマランド株式会社 くだまつ健康パーク |
| イオングループ (23社) | 出光興産株式会社千葉事業所 |
| ANAホールディングス株式会社 | 株式会社ENEOSマテリアル |
| 株式会社 大塚商会 | カシオ計算機株式会社 |
| 学校法人 金沢医科大学 | 協同油脂株式会社 |
| クローダジャパン | 学校法人 鹿鹿義塾 |
| 経済産業省 | 学校法人 工学院大学 |
| JFEスチール株式会社 | 東日本製鉄所 (京浜地区) |
| 静岡市中央卸売市場 | シャープ株式会社 |
| 西武鉄道株式会社 | 積水ハウス株式会社 |
| ソフトバンク株式会社 | 大王製紙株式会社 可児工場・三島工場 |
| ダイハツ工業株式会社 滋賀 (竜王) 工場 | 武田薬品工業株式会社 |
| 国立大学法人 千葉大学 | |
| デンカ株式会社 | 学校法人 東海大学 |
| 東京都 | 凸版印刷株式会社 |
| トーヨーカラー株式会社 | 株式会社 日本触媒 |
| 日本電気株式会社 | 株式会社 日立製作所 |
| 富士通株式会社 | ブラザー工業株式会社 |
| 北陸ラッキーマン株式会社 | |
| 北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社 | |
| 株式会社前川製作所 | 三菱ケミカル株式会社 |
| 三菱電機株式会社 | 三菱マテリアル株式会社 若松製作所 |
| UBE株式会社 宇部ケミカル工場 | 雷印メグミルク株式会社 野田工場 |
| 株式会社リブドックコーポレーション | YKK AP株式会社 |

令和5年6月15日発行(毎月1回15日発行)第50巻 第6号 通巻573号 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 日本冷凍空調工業連合会 郵便物認可 ISSN 0285-5062

冷凍空調設備

REFRIGERATION & AIR CONDITIONING CONTRACTORS

6

Vol. 50 No. 6
2023 June

令和3年度フロン類算定漏えい量
2021年度国内温室効果ガス排出・吸収量(確報値)
第40回優良省エネルギー設備顕彰事例

都井岬野生馬(宮崎県)



一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会

ラムズ RaMS利用で 企業価値UP!



**RaMSで冷媒管理！
書類保存が確実！
クラウド管理なので安心です！**

(一財)日本冷媒・環境保全機構は RaMS を運営提供するとともに、「フロン排出抑制法」(第76-85条)に基づき、経済産業省・環境省から「情報処理センター」として指定されています

「フロン排出抑制法」に準拠した冷媒管理で地球環境の改善に貢献する環境先進企業へ

デジタル化推進

デジタル化により、紙媒体をなくし、機密情報も安全に保管することが求められています。またドキュメントの電子化で、業務効率化やコスト削減ができます

地球温暖化防止

フロン類は、地球温暖化をもたらす温室効果ガスの中で二酸化炭素(CO₂)に比べ最大1万5千倍も影響があり、適正管理が必要となります

ISO14001 対応

ISO14001活動を行う中で「環境側面」として「フロン排出抑制法」対応にRaMSを利用することで効率的な管理が可能になり、審査時のエビデンスとなります

CSR 推進支援

CSRレポート・環境報告書は、法令順守、自主活動を通じ、企業の社会的責任の遂行状況を対外的に開示するものとして作成、発行が求められています

●JRECO 冷媒管理システム RaMS (ラムズ) のお問合せ先



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 企画・調査部
電話：03-5733-5311 E-mail：contact@jreco.or.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 406-2

TRK

令和5年11月1日発行

一般社団法人 東京都冷凍空調設備協会

東冷協だより 2023. **11・12**
No.440

● 目次

・ 今、思うこと	1	・ 行事予定	17
・ お知らせ	2	・ 豆知識	18
・ 技術レポート	9	・ ところのコラム	21
・ サロン	11	・ 新聞記事情報	23
・ 行事報告	12	・ 会員の動向	24
・ 東冷協日誌	17	・ 我社の自慢	25



ラムズ RaMS利用で 企業価値UP!



**RaMSで冷媒管理！
書類保存が確実！
クラウド管理なので安心です！**

(一財)日本冷媒・環境保全機構は RaMS を運営提供するとともに、「フロン排出抑制法」(第76-85条)に基づき、経済産業省・環境省から「情報処理センター」として指定されています

「フロン排出抑制法」に準拠した冷媒管理で地球環境の改善に貢献する環境先進企業へ

デジタル化推進

デジタル化により、紙媒体をなくし、機密情報も安全に保管することが求められています。またドキュメントの電子化で、業務効率化やコスト削減ができます

地球温暖化防止

フロン類は、地球温暖化をもたらす温室効果ガスの中で二酸化炭素(CO₂)に比べ最大1万5千倍も影響があり、適正管理が必要となります

ISO14001 対応

ISO14001活動を行う中で「環境側面」として「フロン排出抑制法」対応にRaMSを利用することで効率的な管理が可能になり、審査時のエビデンスとなります

CSR 推進支援

CSRレポート・環境報告書は、法令順守、自主活動を通じ、企業の社会的責任の遂行状況を対外的に開示するものとして作成、発行が求められています

●JRECO 冷媒管理システム RaMS (ラムズ) のお問合せ先



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 企画・調査部
電話：03-5733-5311 E-mail：contact@jreco.or.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 406-2

収支予算書(令和6年度計画)

(情報処理センター)

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

東京都港区芝公園3-5-8
機械振興会館406-2

予定貸借対照表

令和7年3月31日

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位：円)

科 目	令和6年度 計画
I 資産の部	
1. 流動資産	
仮勘定	386,477
流動資産合計	386,477
2. 固定資産	
ソフトウェア	0
固定資産合計	0
資産合計	386,477
II 負債の部	
1. 流動負債	
仮勘定	237,531
流動負債合計	237,531
負債合計	237,531
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	0
2. 一般正味財産	148,946
正味財産合計	148,946
負債及び正味財産合計	386,477

予定正味財産増減計算書

令和6年 4月 1日から令和7年 3月31日まで

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位：円)

科 目	令和6年度 計画
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
事業収益	385,000
受取補助金	0
雑収益	1,477
経常収益計	386,477
(2) 経常費用	
事業費	
人件費	34,114
会議・研修費	150
旅費交通費	721
通信運搬費	1,945
減価償却費	59,548
消耗品費	54
印刷製本費	134
広告宣伝費	6,037
銀行手数料	443
手数料その他	161
租税公課その他	556
外注費	0
調査費	470
自己負担金	0
委託費(システム保守費等)	37,561
コンサルタント料	46,951
管理費	18,234
経常費用計	207,079
評価損益等調整前当期経常増減額	179,398
評価損益等計	0
当期経常増減額	179,398
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
税引前一般正味財産増減額	179,398
法人税・住民税及び事業税	0
当期一般正味財産増減額	179,398
一般正味財産期首残高	▲ 30,452
一般正味財産期末残高	148,946
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
III 正味財産期末残高	148,946